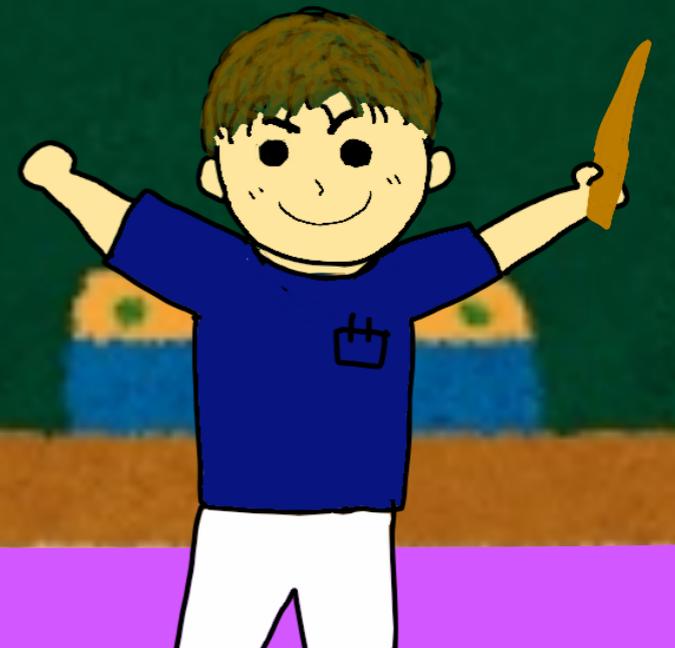


脳疾患で 低ナトリウム血症に なりやすい理由

エビデンスノート365



脳梗塞や脳出血では低Naを起こしやすい！

脳がダメージを受けることでバソプレシンが出過ぎちゃう！
→血液が薄まって低下Na血症になる！

よく分からんので一つ一つ見ていこう！

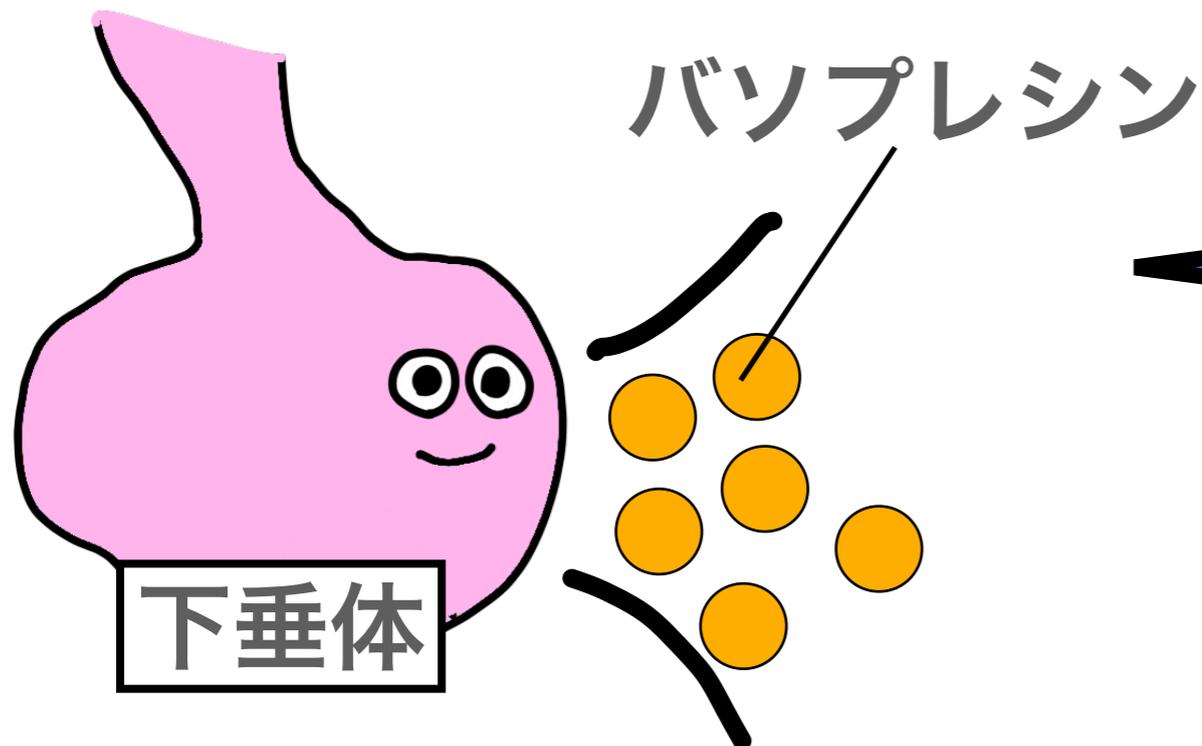


バソプレシンってなんぞや？

血液中の水分を増やしてくれる働きを持つホルモン！

どうやって血液中の水分を増やしてくれるの？

- 腎臓の集合管に作用して尿中の水分を血管内に吸収させてくれる！

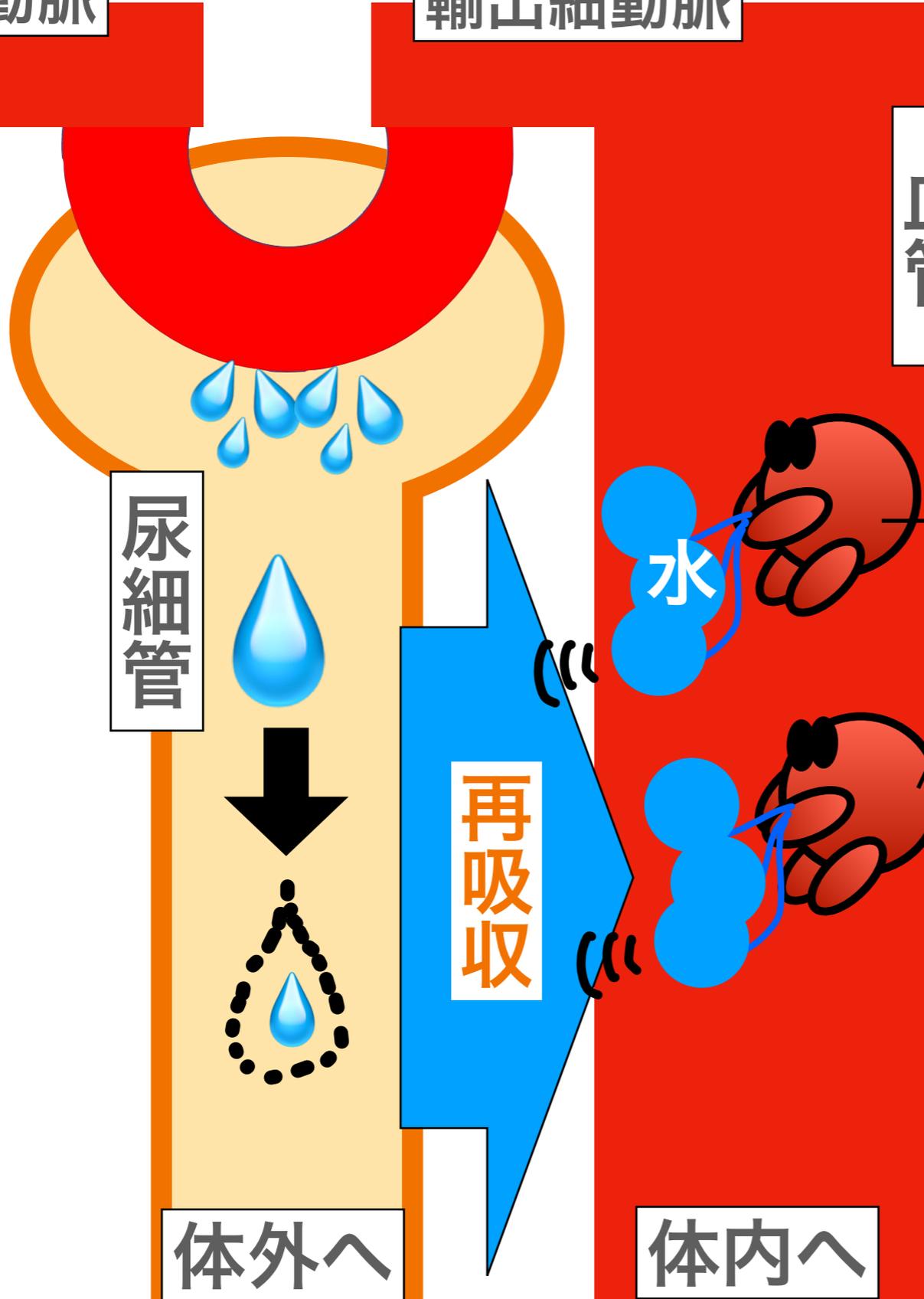


脳にある下垂体から
バソプレシンが分泌
される！

バソプレシンの仕組み

輸入細動脈

輸出細動脈



尿細管

血管

バソプレシン

再吸収

体内へ

体外へ

バソプレシは尿細管から血管内に向かって水分の再吸収を促進させる
→ 血中の水分が増加する

バソプレシンが増えすぎると？

輸入細動脈

輸出細動脈

血管

尿細管

再吸収

水

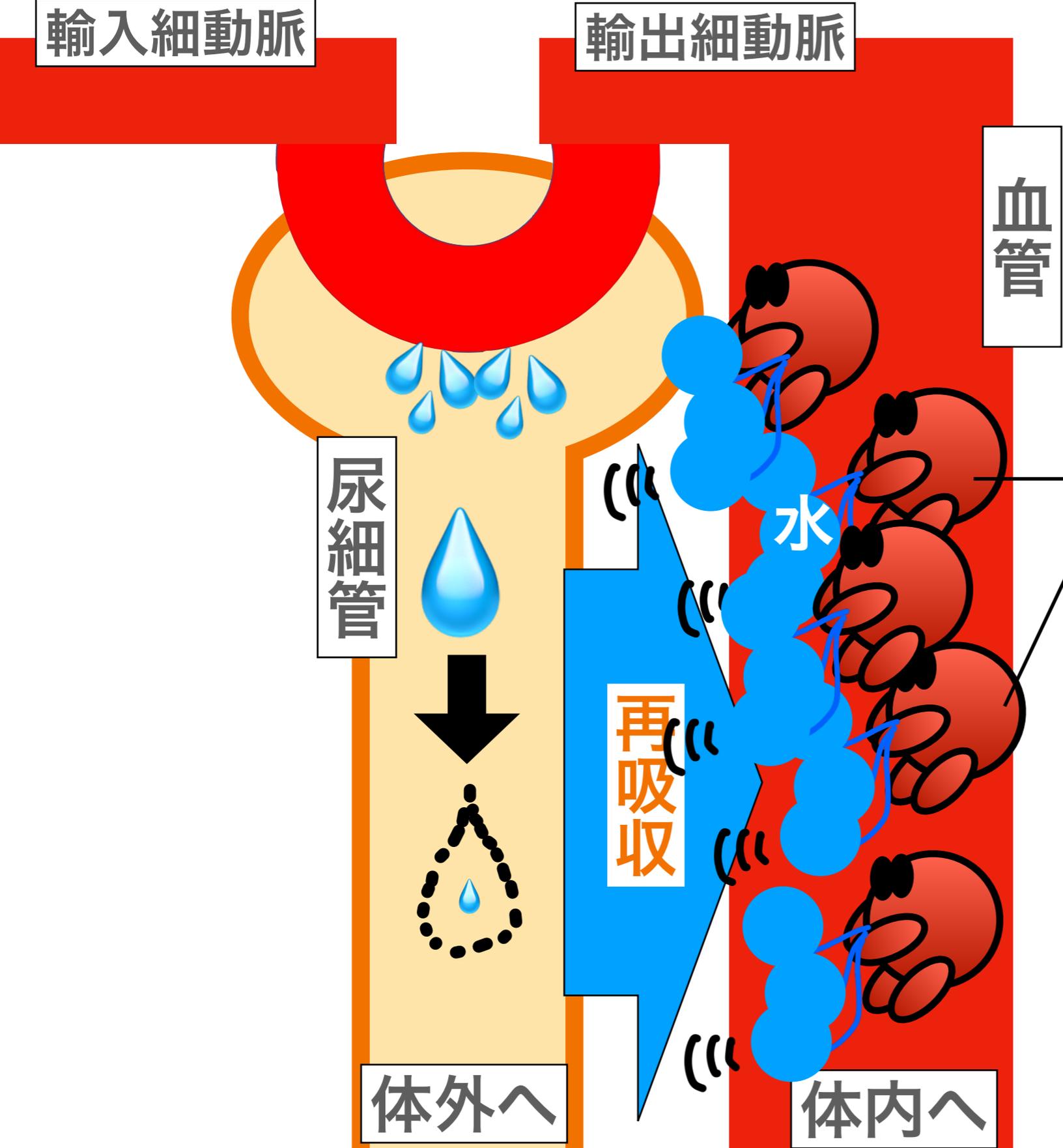
バソプレシン

バソプレシ増加
→ 血中の水分増加
→ 低Na血症

相対的に血中のNaが
減るよ！

体外へ

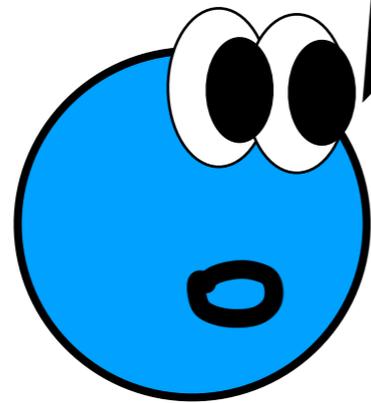
体内へ



どうしてバソプレシンが増えるの？

下垂体後葉から分泌されるバソプレシンは
「促進的な支配」と「抑制的な支配」を受けて
分泌されている！

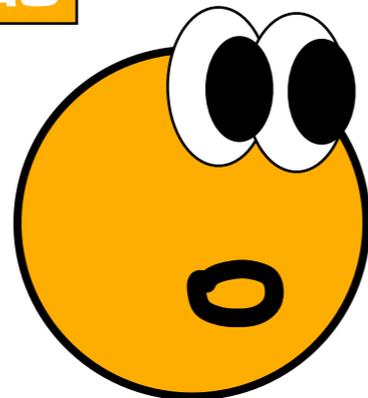
促進的な支配



バソプレシたくさん
分泌して！

適度なバソプレシ
分泌

抑制的な支配

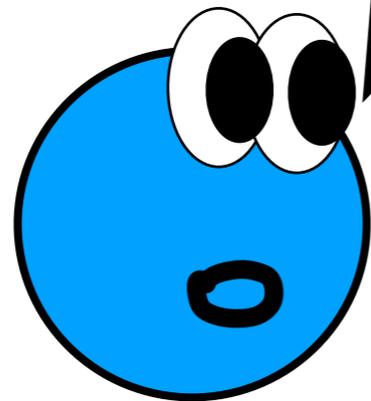


バソプレシン少しで
いいよ！

支配の場所

促進的な支配 → 前視床下部の浸透圧受容器
抑制的な支配 → 脳幹部

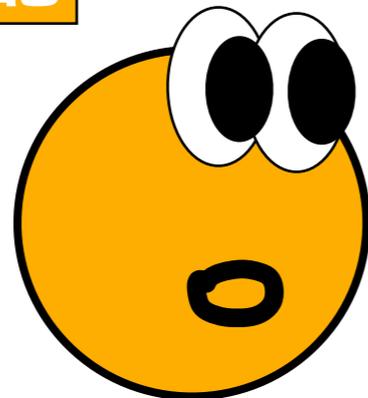
促進的な支配



バソプレシたくさん
分泌して！

適度なバソプレシ
分泌

抑制的な支配

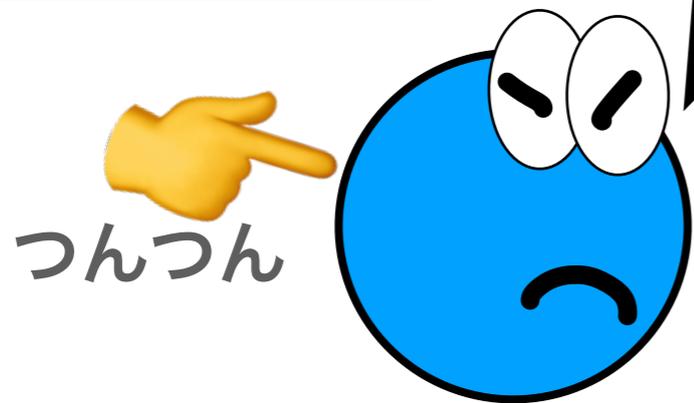


バソプレシン少しで
いいよ！

脳疾患になると

促進的な支配が刺激される
or
抑制的な支配が障害される

促進的な支配



バソプレシたくさん
分泌して!!!

過剰にバソプレシ
分泌

抑制的な支配



バソプレシン少しで
いいよ!